

様式2

平成30年度 第1回安曇野市国民健康保険運営協議会 会議概要

- 1 審議会名.....安曇野市国民健康保険運営協議会.....
- 2 日.....時.....平成30年8月2日.....午後1時30分から午後3時7分まで
- 3 会.....場.....市役所本庁舎.....4階大会議室.....西.....
- 4 出席者.....古澤委員・征矢野委員・矢淵委員・東本委員・土屋委員・古川委員
.....山本委員・丸山委員・藤松委員・小松(善)委員・徳竹委員・池上委員
.....小松(純)委員・中島委員(欠席).....中村委員・中野委員.....
- 5 市側出席者.....高橋部長・小林課長・森田係長・保科係長・飯田係長・丸山主査.....
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成30年8月9日.....

協 議 事 項 等

会議の概要

1. 開会 (小林課長)
2. 会長あいさつ (藤松会長)
3. 保健医療部長あいさつ (高橋部長)
4. 協議事項
 - (1) 議事録署名人の氏名 (矢淵委員・山本委員)
 - (2) 報告事項
 - ①安曇野市国民健康保険条例の一部改正について(報告)
(事務局より説明)
【委員からの質問、意見】
特段なく了承される。
 - ②平成29年度安曇野市国民健康保険事業報告について
(事務局より説明)
(委 員) 滞納繰越分不納欠損は減少していくのか。資格者証、限度額適用認定証の取り扱いについて。
(事務局) 不納欠損は地方税法の規定にのっとり、毎年度行っている。資格者証、限度額適用認定証については被保険者の状況を確認の上、対応している。
(委 員) 療養給付費の減少要因は被保険者数の減少によるものか。税率改正への影響は。
(事務局) 被保険者は減少傾向にあるが、今後の見通しについては不透明。一人当たり医療費は増加傾向にあるので、予防のための保健事業に取り組み、国保税を抑制したい。
 - (3) 協議事項
 - ①国民健康保険税の税率改正について
(事務局より説明)
(委 員) 3方式への変更により税額はどう変わるのか。現状の資産割の割合はどうなっているか。
(事務局) 国保税調定額約20億円のうち、資産割額は約1億2千万円。資産割を廃止した場合、同程度の額を所得割に転嫁し、現在と同じ程度の調定を確保したい。

協 議 事 項 等

(委 員) 税率改正のモデルケースを示すことはできるか。

(事務局) 資産割を廃止するか否かについて、結論をお出しいただき、それに基づいて具体的な税率でのモデルケースをお示ししたいと考えているが、3方式4方式両方でモデルケースをお示しすることもできる。

(委 員) 資産割の持つ意味合いはどのようなものか。

(事務局) 所得と比較して変動が少ないことから、安定して一定の調定が見込めるため。

(委 員) 合併前の堀金村では資産割を算定していなかったが、市では採用した理由は。

(事務局) 合併時に他の町村では適用されていたこと、一定の調定額を確保するためです。

(委 員) 結論については、モデルケースなど追加資料を見て検討したい。

(事務局) 次回の運営協議会に資料をお示しします。

(会 長) 委員からの要望もあるので、追加資料をお示しいただき、次回再度検討を行うこととする。

(4) その他

- ・健康ポイントについて
- ・ジェネリック医薬品の利用率の数値について
- ・保健事業のイベントについての案内

(事務局から説明)

委員からの意見質問なし

5. 閉会 (藤松会長)

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。